

2012年3月期 決算説明会 資料



2012年5月9日

【証券コード:2359】

<http://www.core.co.jp>

AGENDA

-
- | | | |
|----|------------------|-----|
| I | 2012年3月期
決算概要 | P 2 |
| II | 2013年3月期
事業計画 | P 9 |

この資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

2012年3月期 決算概要

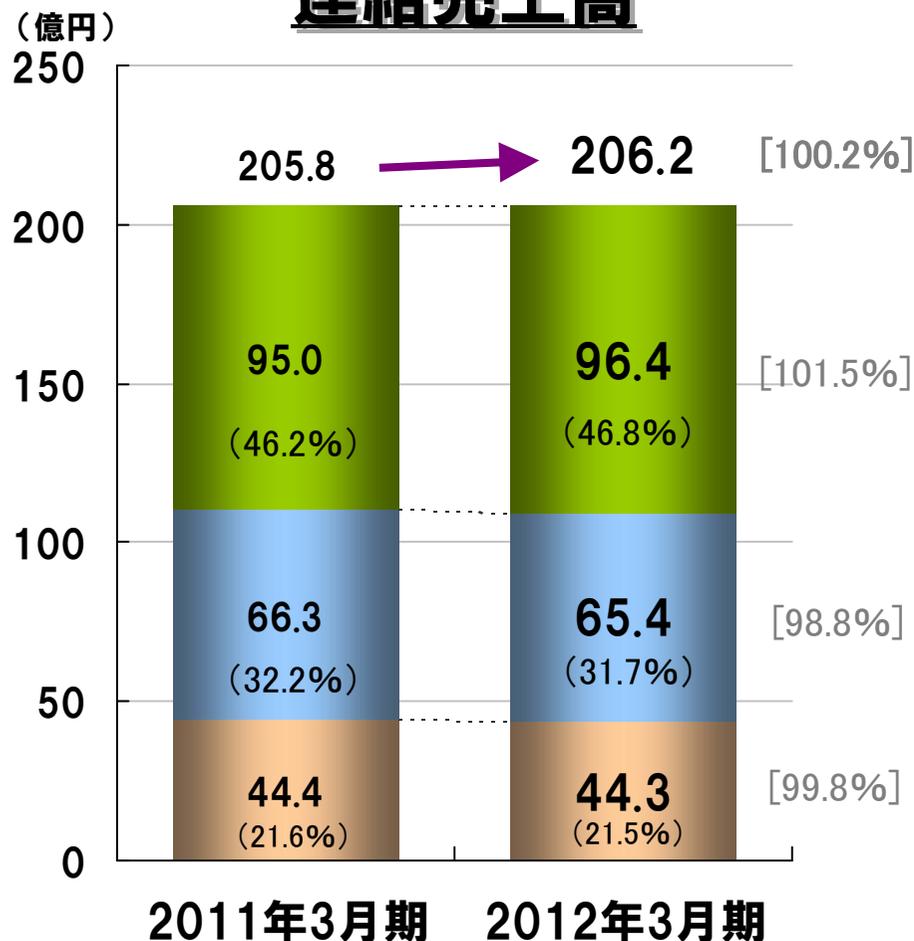
2012年3月期 決算概要

(単位:百万円)

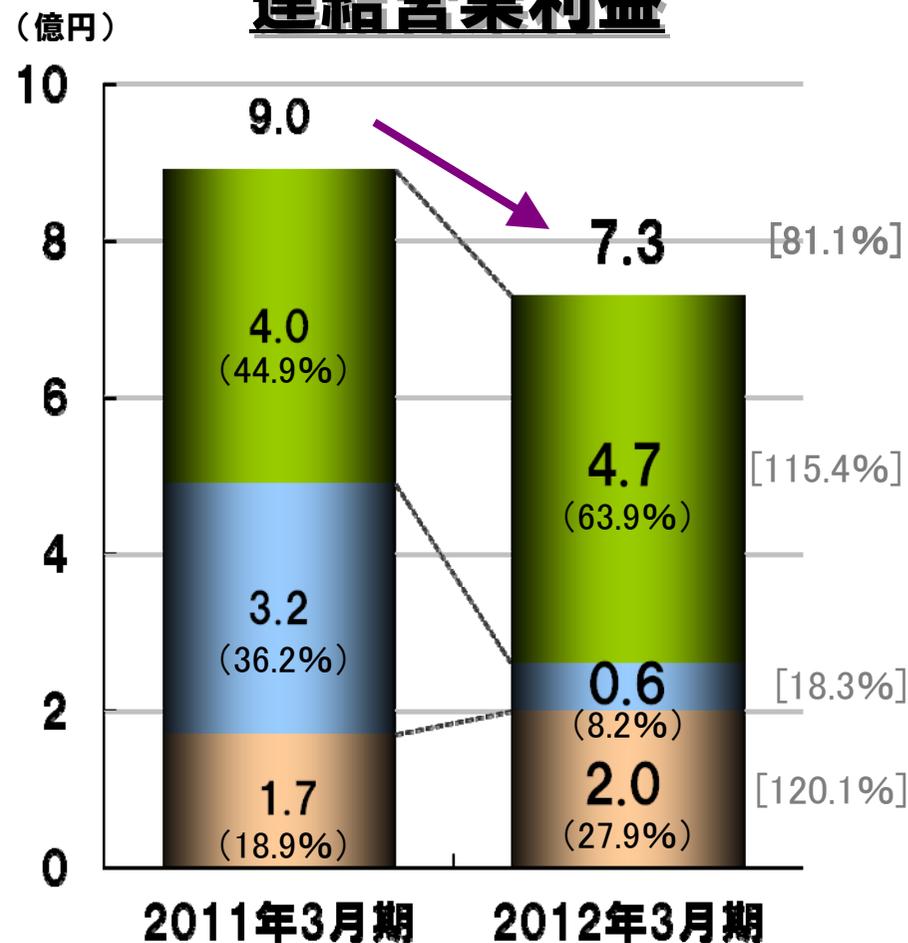
	2011年3月期	2012年3月期	前年 同期比	業績予想との比較	
				予想値	増減率
売上高	20,580	20,629	100.2%	21,500	▲4.0%
営業利益	908	737	81.1%	1,100	▲33.0%
経常利益	1,058	862	81.5%	1,150	▲25.0%
当期純利益	561	410	73.0%	660	▲37.9%
総資産額	14,529	14,458	99.5%		
純資産	7,452	7,575	101.6%		
EPS(円)	39.51	28.85	73.0%		
BPS(円)	521.01	529.14	101.6%		

セグメント別の損益概況

連結売上高



連結営業利益



■ :エンベデッドソリューション事業

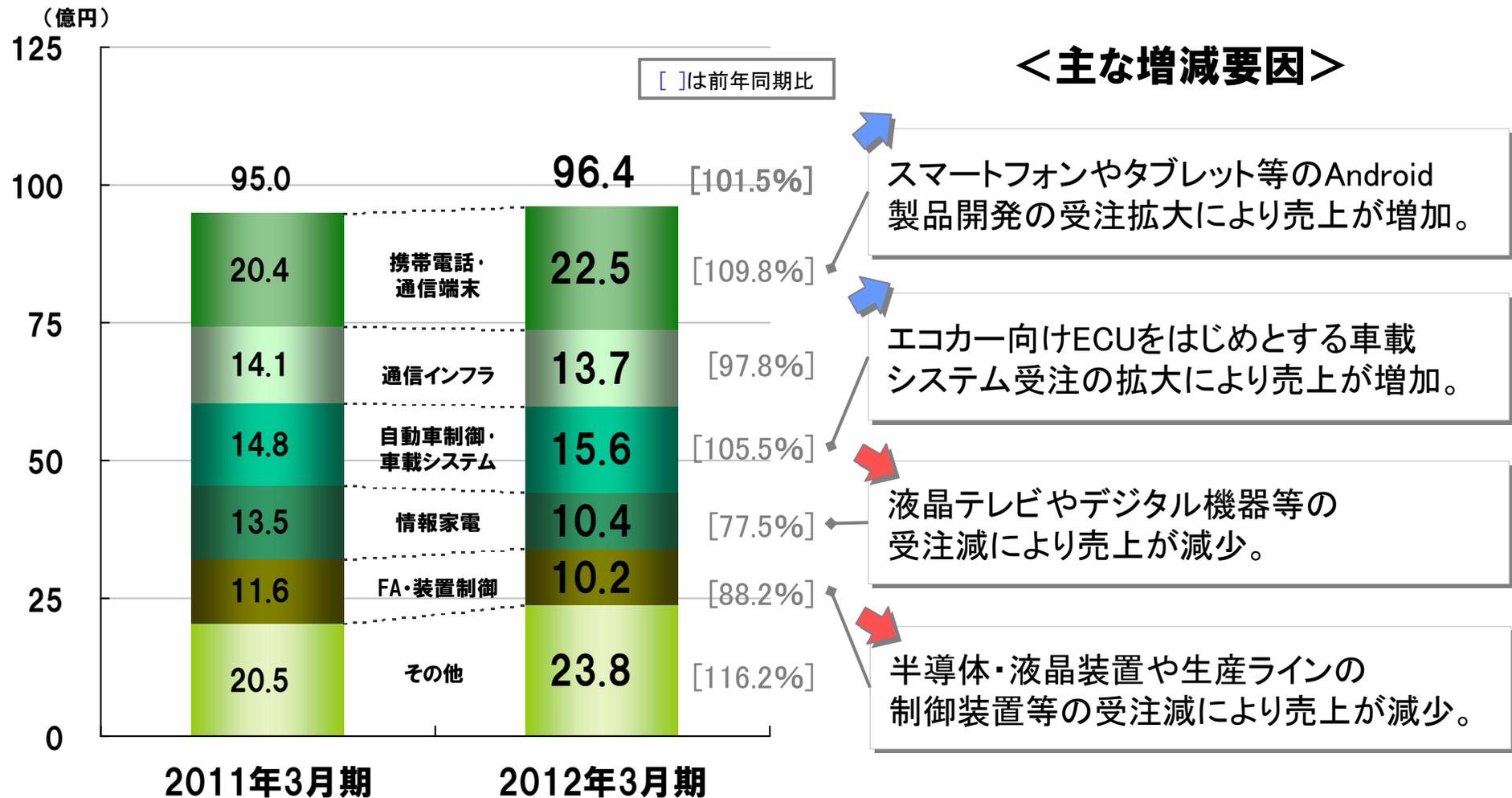
■ :ビジネスソリューション事業

■ :プロダクトソリューション事業

()内は構成比、[]は前年同期比

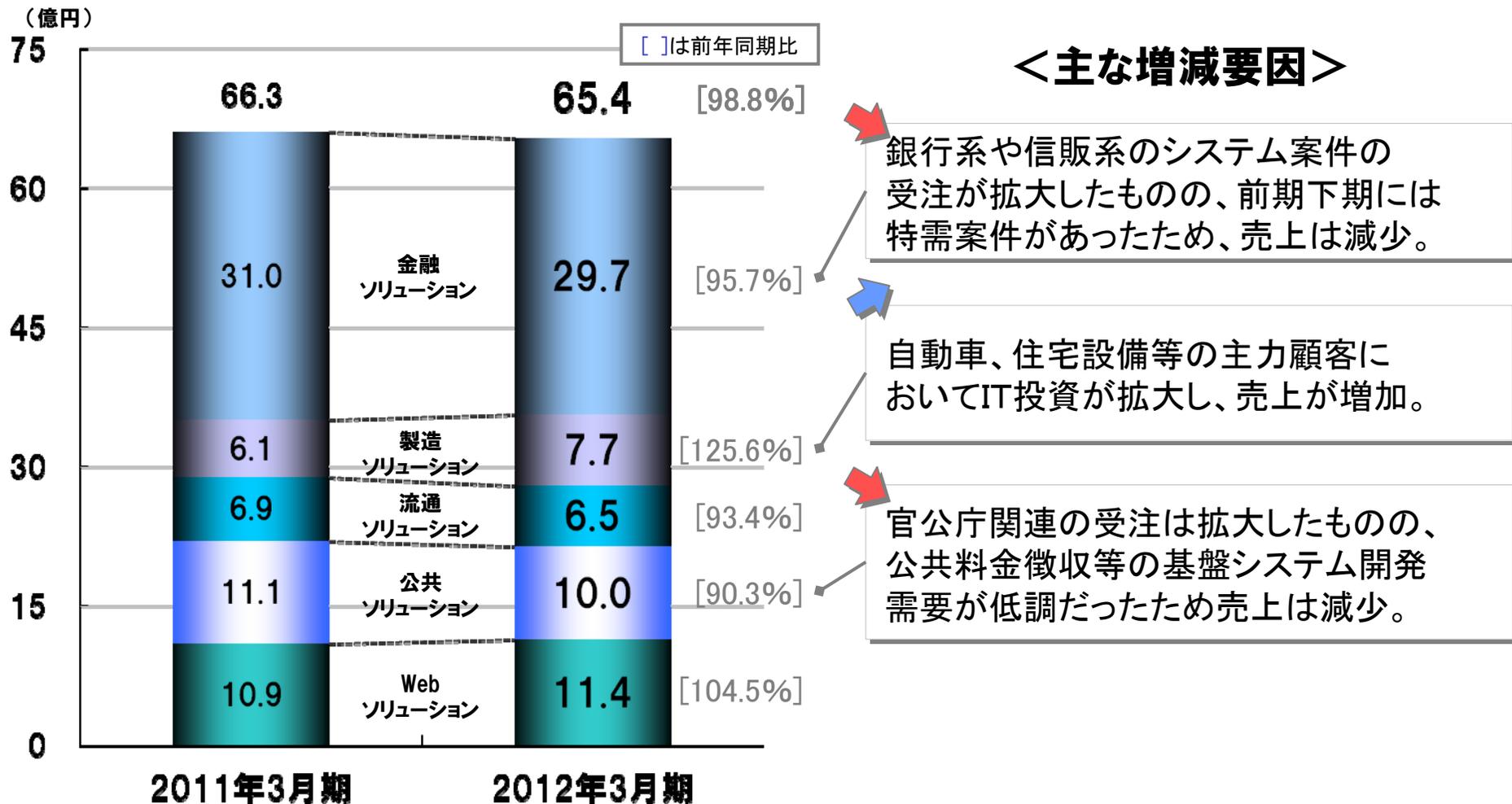
セグメント別の売上高概況（1/3）

エンベデッドソリューション事業



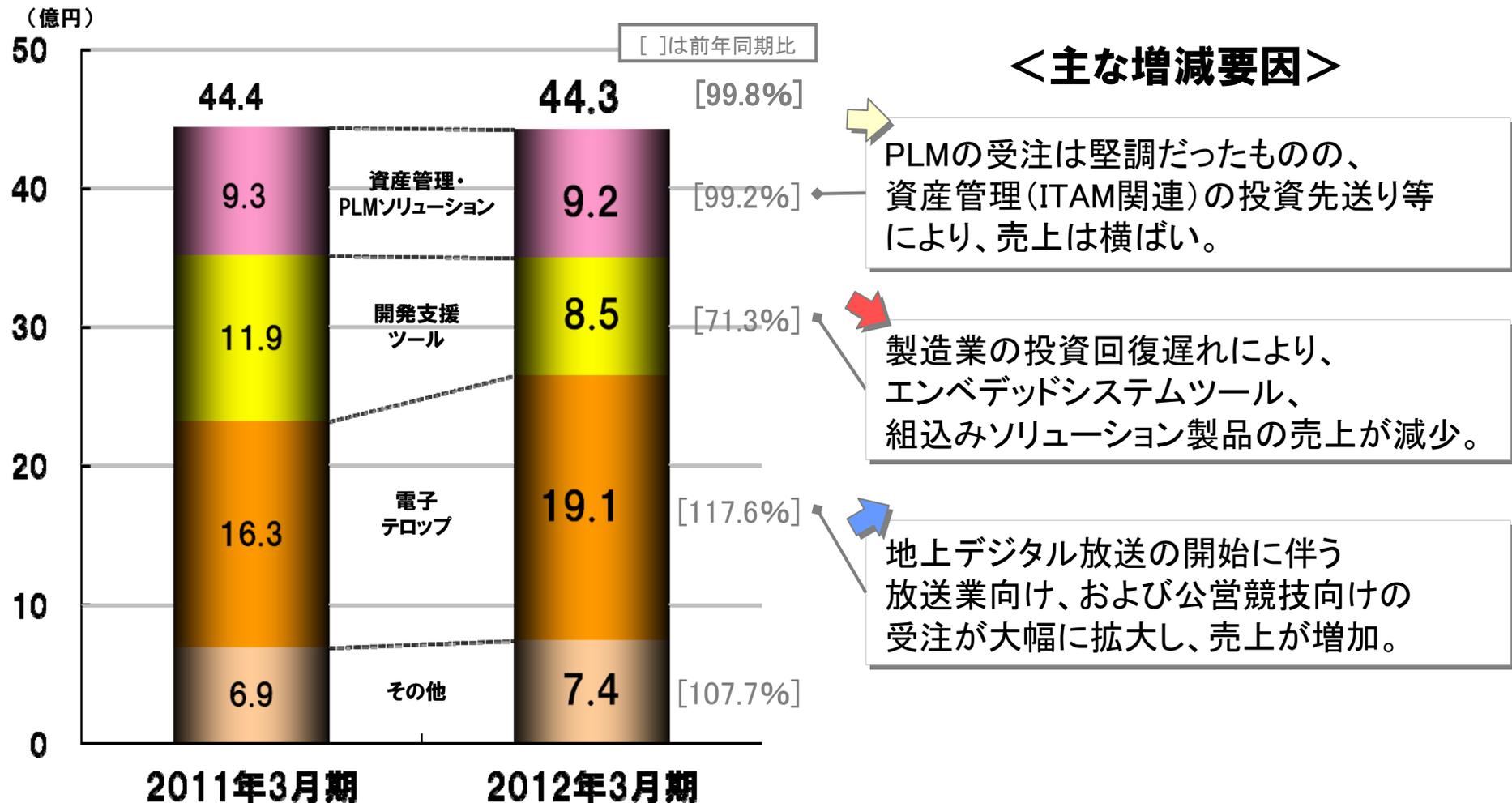
セグメント別の売上高概況（2/3）

ビジネスソリューション事業



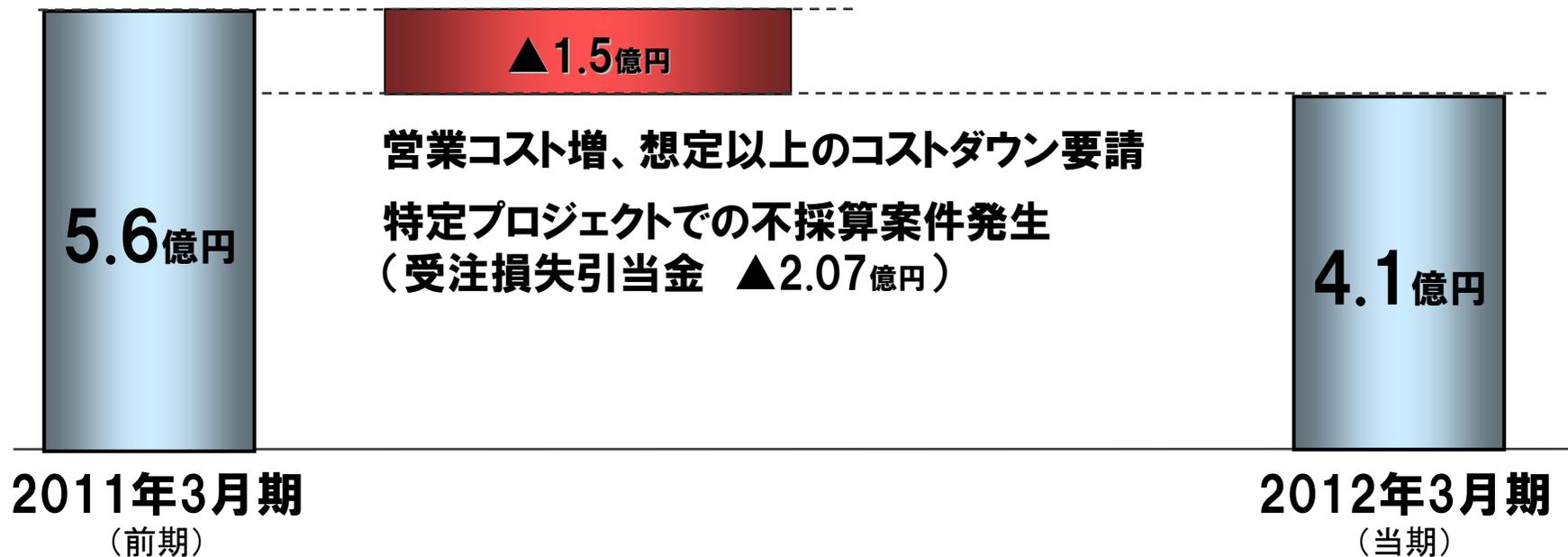
セグメント別の売上高概況（3/3）

プロダクトソリューション事業



当期純利益の増減要因

売上高は増したものの、営業コストの増加、想定以上のコストダウン要請に加え、特定プロジェクトでの不採算案件発生により、営業利益、経常利益、当期純利益が減少



2013年3月期 事業計画

当社事業環境の認識

- ・先行きリスク要因

(欧州債務危機、原油価格、電力供給制約・原子力災害、デフレ、雇用情勢)

- ・IT投資に影響を及ぼす日本の課題

(少子高齢化、財政問題、グローバル化、業種別景況感の変化)

- ・ICT技術の急速な発展、社会・生活スタイルの変化を背景に、業界を取り巻く環境は急速かつ急激に変化



有望分野 : M2M(Machine To Machine)
ビッグデータの活用
新しい時代のためのセキュリティ

新時代、有望分野に挑むための取り組み

M2M

ビッグデータ

セキュリティ

ReviveTally®

(M2Mサービス向けエンベデッドクラウドプラットフォーム)

GNSS(準天頂衛星対応位置信号受信器、時刻同期)



Android端末向け通信監視アプリ

「Traffic Tracker」

(株)コアファーム設立

(営農ビジネス+ITを利活用したソリューション開発)

コアクラウド基盤「DDM」(2012秋～)

「新データセンター」(2013/上期竣工予定)

2013年3月期 計画

(単位:百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
売上高	20,629	100.0%	22,000	100.0%	106.6%
エンベデッドソリューション事業	9,647	46.8%	10,800	49.1%	111.9%
ビジネスソリューション事業	6,548	31.7%	6,600	30.0%	100.8%
プロダクトソリューション事業	4,433	21.5%	4,600	20.9%	103.8%
営業利益	737	100.0%	1,100	100.0%	149.2%
エンベデッドソリューション事業	470	63.9%	500	45.4%	106.2%
ビジネスソリューション事業	60	8.2%	300	27.3%	498.2%
プロダクトソリューション事業	205	27.9%	300	27.3%	145.7%
経常利益	862		1,100		127.5%
当期純利益	410		650		158.5%
EPS(円)	28.85		45.74		158.5%

当期の経営方針

リンケージ戦略

サービスリンケージ

数多くのプロジェクト経験を
活かし、進化するネットワーク
社会を見据えたコンサル
ティングから保守運用までの
トータルサービスを提供する。

ソリューションリンケージ

コアグループが持つ
あらゆる製品を活用し、
顧客の課題解決に向けて
ベストな組合せで
ソリューション提案を行う。

組織リンケージ

コアグループを構成する
全ての部門を横断的に
連携させ、組織力を強化し、
グローバル対応を図る。

1. グループ業績の回復、拡大
2. ビジネスモデルの転換
3. グローバルを見据えたソリューション、製品開発

リンケージ戦略上の重点推進事項①

オールコア営業戦略

コア製品を活用したソリューション展開
(ITAM、PLM、電子テロップ、ASURA、GPS、Traffic Tracker)

先端分野を中心とした新市場展開
(次世代エネルギー、スマートアグリ、ヘルスケア、ロボット・宇宙等)

M2Mサービスの充実
(遠隔監視、農業、ヘルスケア等)

官公庁、自治体への提案推進

クラウドサービスの充実
(DDMリリース、パッケージ製品のITサービス化)

データセンタービジネス

オールコアで臨むグローバル展開

**他のSierとの
競争優位性
を確保**

リンケージ戦略上の重点推進事項②

プロセスイノベーション

ユニークで使いやすい製品群のさらなる充実
プロセスの標準化、自動化、共有化の徹底
ビジネスモデルイノベーションの推進

「体質」「構造」の改革

社内システム改革
(業務効率化、情報共有、インフラ整備)

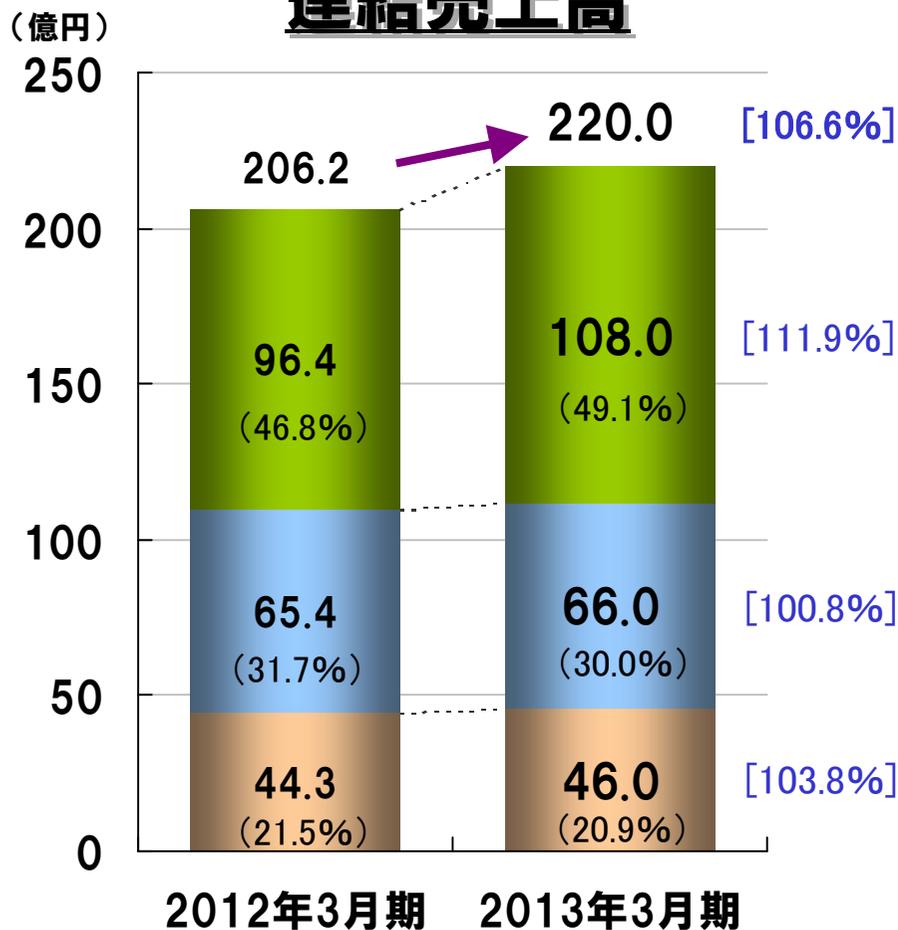
中核事業拠点の集約
(コアビル、コア第2ビルへの3事業カンパニーの集約と設備改修)

未来指向の人材登用、教育、人事制度の充実

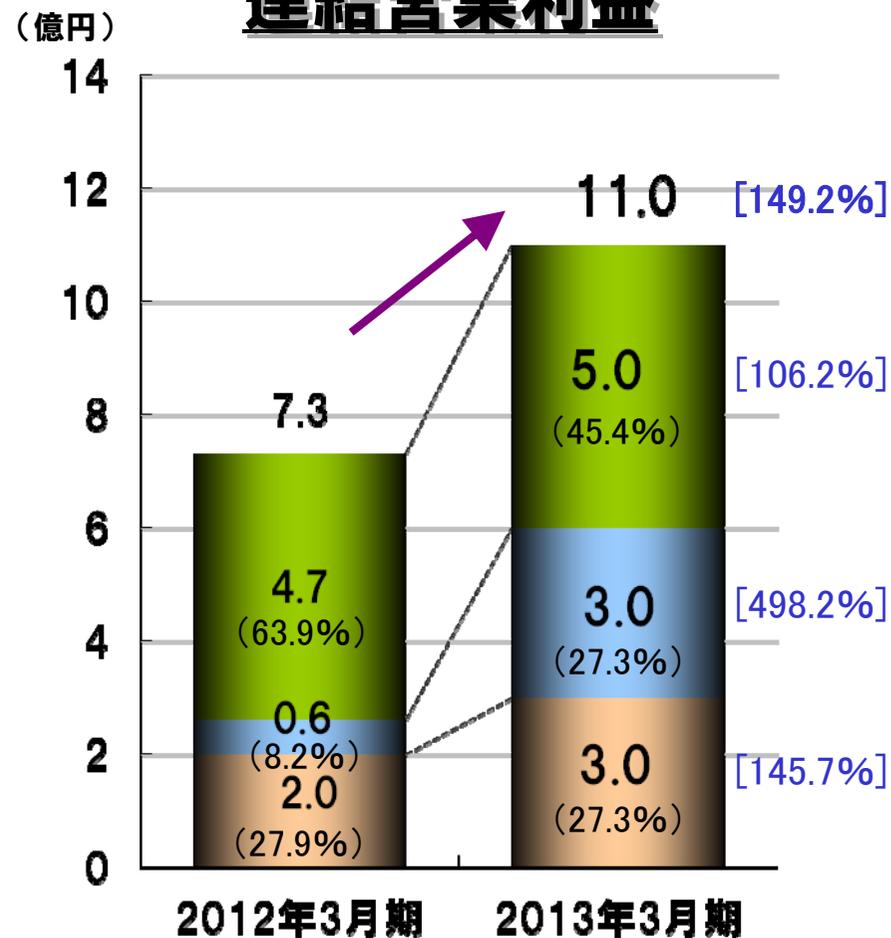
グループ力の最大化

2013年3月期 計画（セグメント別）

連結売上高



連結営業利益



■ :エンベデッドソリューション事業

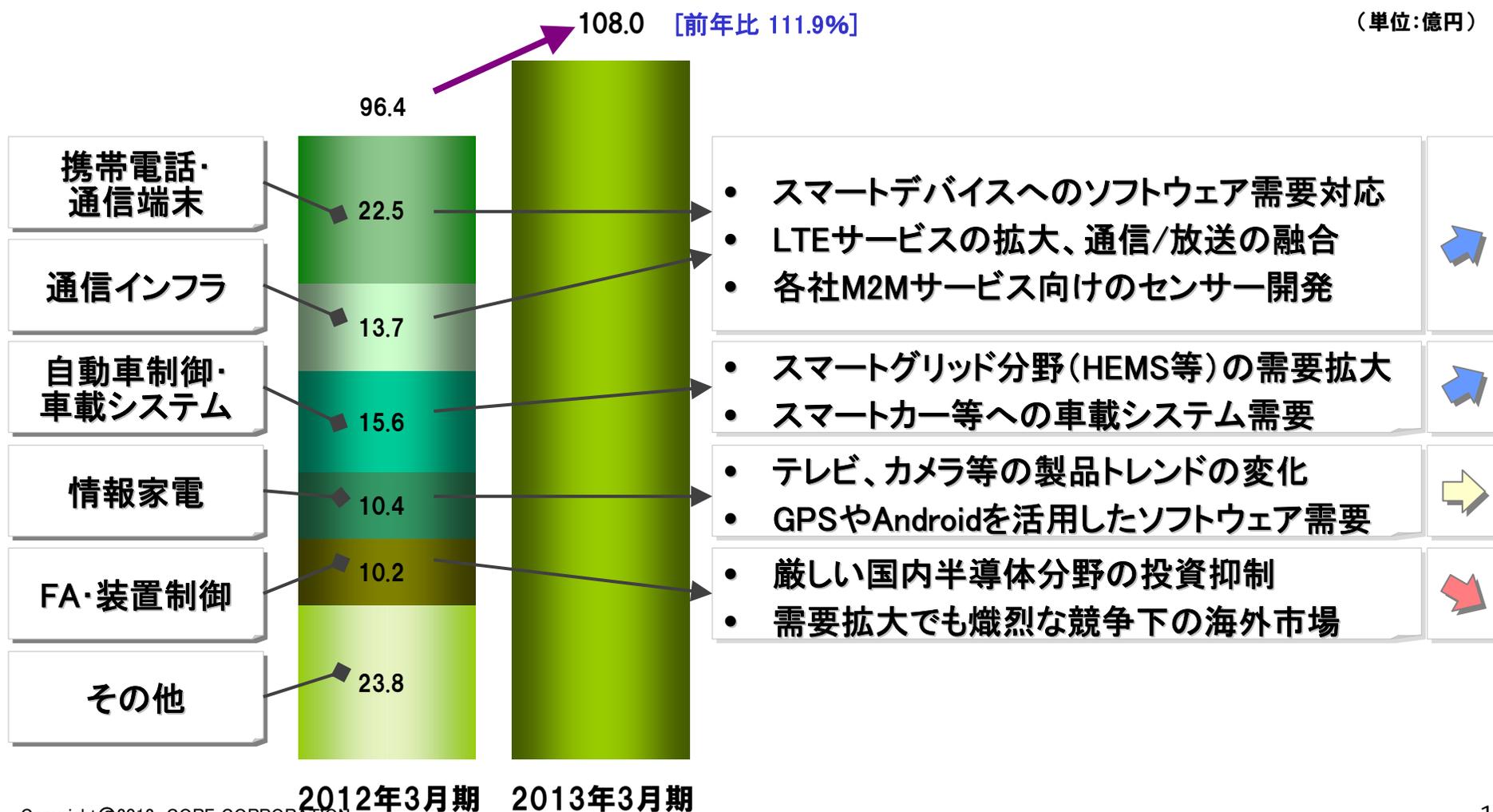
■ :ビジネスソリューション事業

■ :プロダクトソリューション事業

()内は構成比、[]は前年同期比

事業セグメント別戦略（1/3）

エンベデッドソリューション事業

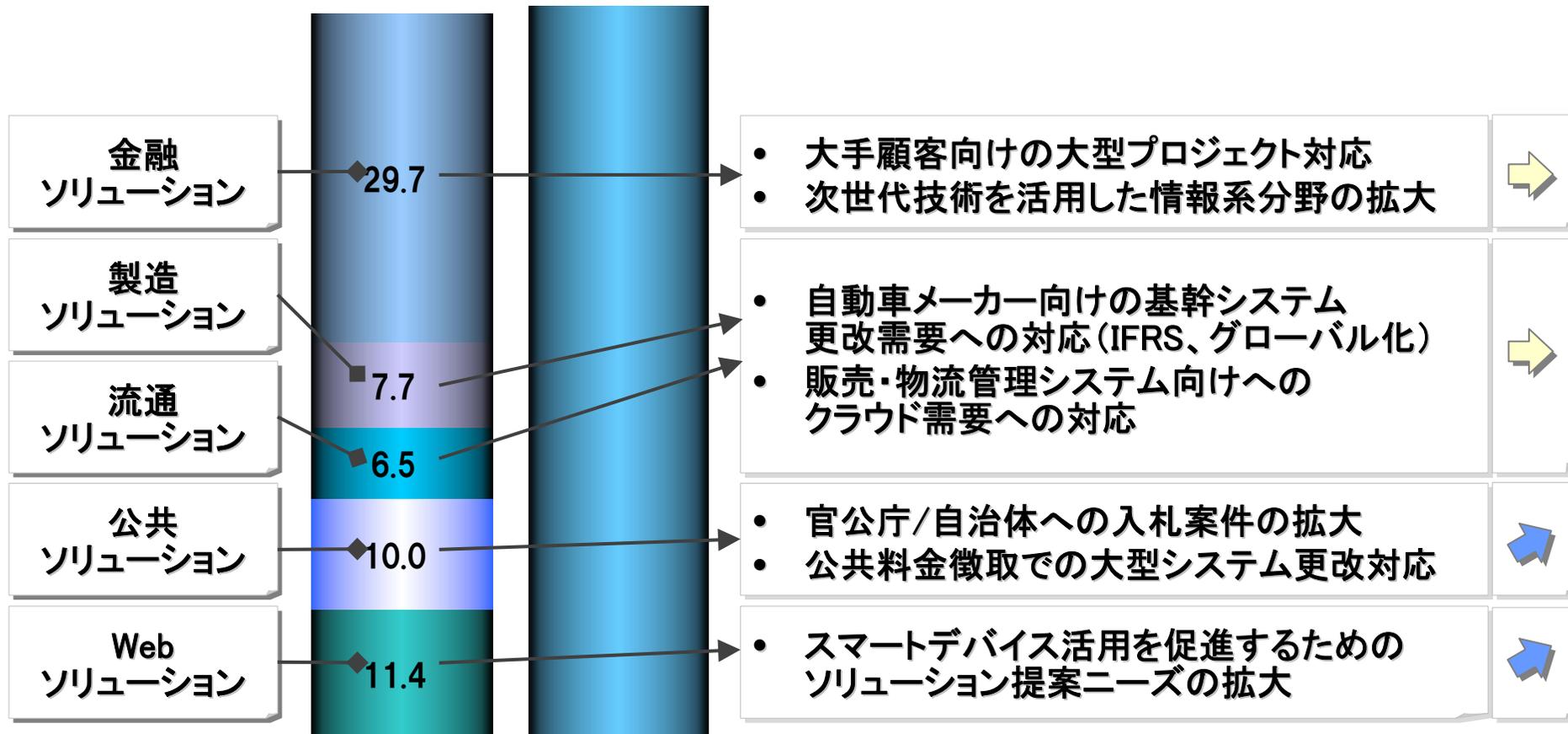


事業セグメント別戦略（2/3）

ビジネスソリューション事業

65.4 → 66.0 [前年比 100.8%]

(単位:億円)

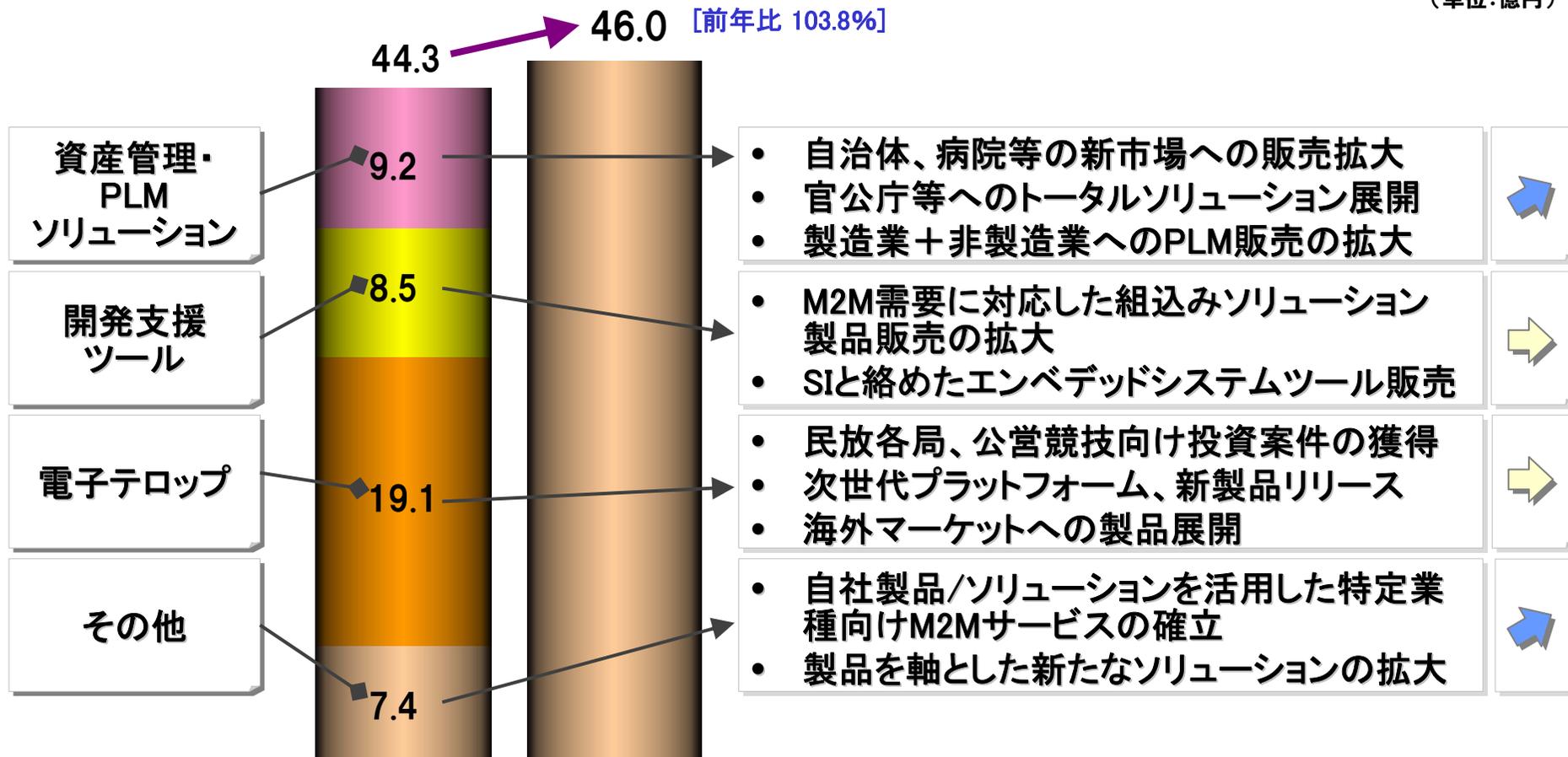


2012年3月期 2013年3月期

事業セグメント別戦略（3/3）

プロダクトソリューション事業

（単位：億円）



2012年3月期 2013年3月期

新たな取り組み①：M2Mサービス

CORE
CORE GROUP 保有技術の融合

ReviveTally®

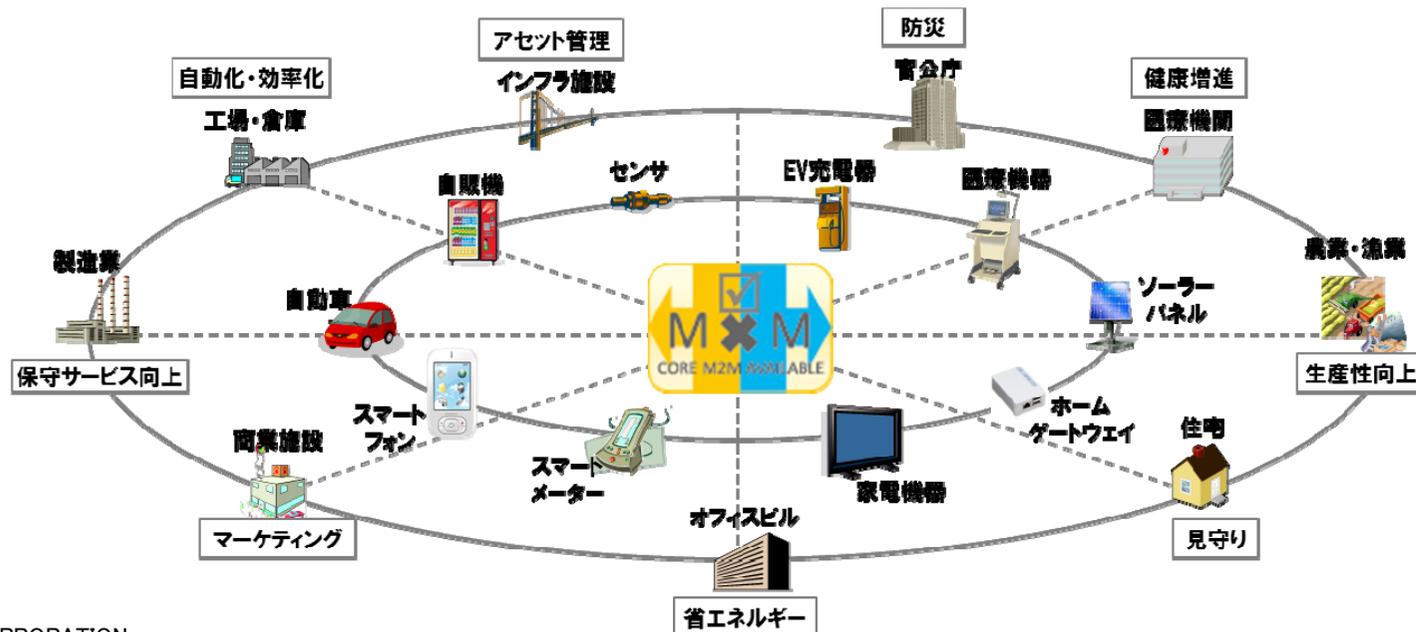
GNSS(準天頂対応、時刻同期)

ASURA

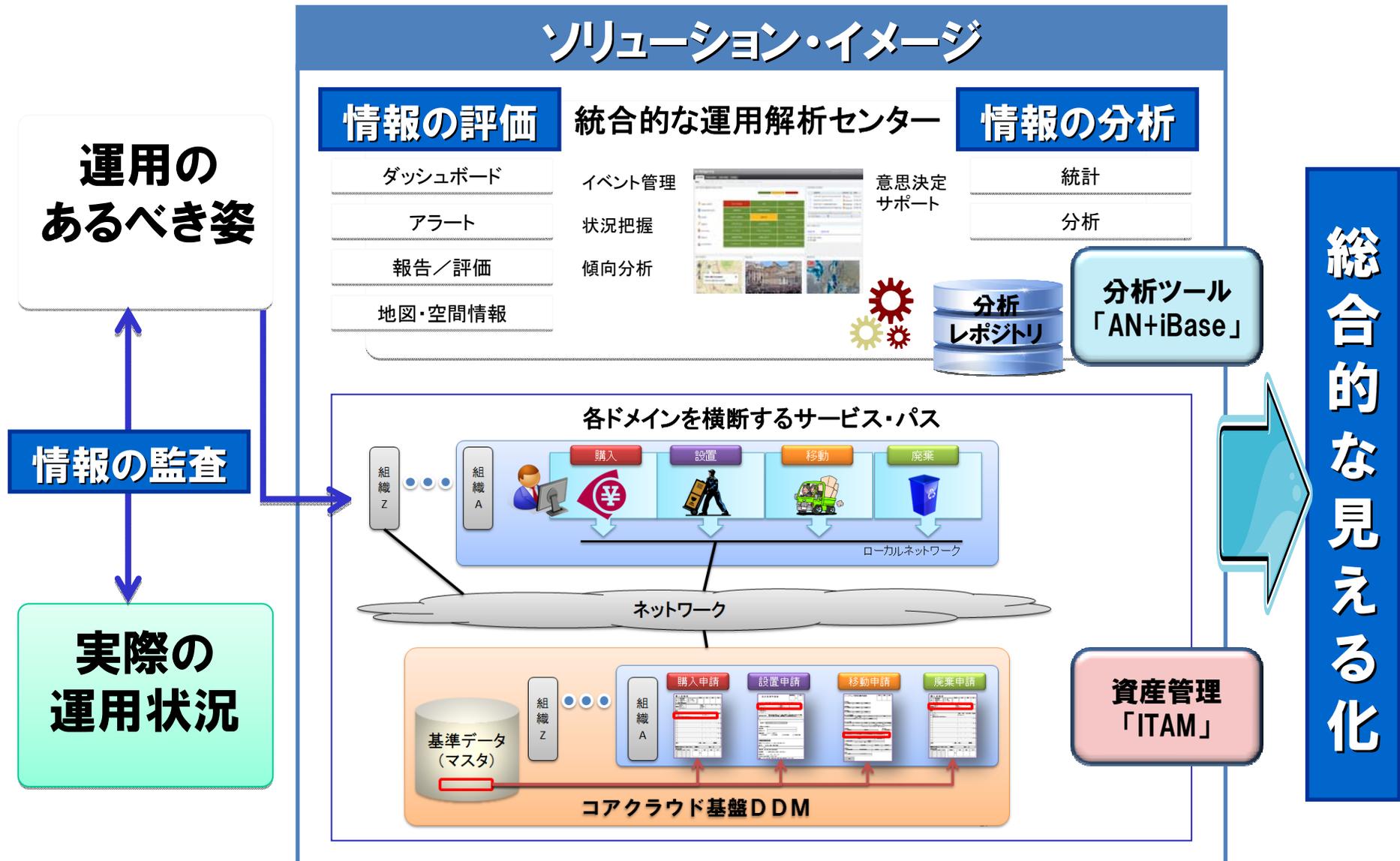
Traffic Tracker Android端末向け通信監視アプリ
「Traffic Tracker」



エンベデッドクラウド®の世界



新たな取り組み②：クラウドサービス



配当政策

株主還元、将来投資、内部留保に配分

連結配当性向は30%以上（当期は計画どおり年間20円）

